

医療法人済恵会 広報誌
オアシス75号

広報誌オアシス 制作 広報委員会
〒379-0116 群馬県安中市安中3532-5
Tel (027) 382-3131 FAX (027) 382-6568

残暑お見舞い申し上げます

今年の夏は暑いですね。暑い日が続いていますが、皆様お変わりありませんでしょうか。かつて私は暑さにも寒さにも強いと自負しておりました。しかし4年前の6月、梅雨の中休みの非常に暑い日、運動後異常なだるさと喉の渇きに襲われました。すぐに血液検査をしたところCRPという検査値が10以上を示していました。(正常値 0.2以下)これは体の中に何か炎症が起こっていると上昇します。また肝機能、腎機能なども少し上昇しておりました。これが熱中症か、と身をもって体験しました。幸い一日点滴を受けたら回復しましたが、肝機能腎機能など多臓器不全を起こす危険性があったわけです。みなさんこれから疲れも出ます。どうぞお気を付けてください。

さて病院と老健めぐみでは、足場が組まれ建築工事の真っ最中です。特に病院では正面玄関前の駐輪スペースが撤去され工事が行われます。この工事は病院4階の増床工事によるもので、将来的には病院の中核部門が新築棟に移ります。工事中皆さまにはご迷惑をお掛けしますが、どうぞお気を付けてお通り下さい。また老健めぐみと旧病院の間ではエレベーターホールの工事が行われています。新しくなった給食室とめぐみの居室がエレベーターでつながれ、今後はめぐみの入所者の皆さんにも温冷配膳車での給食が用意されます。温かいものはより温かく、冷たいものはより冷たい状態で配膳されますのでどうぞご期待ください。

今回の須藤病院の増床工事は群馬県全体でベッドの削減計画が示されている中、県内最後の増床となるかもしれません。それだけに私たち須藤病院の責任は重大です。安中

市の救急病院として、また唯一回復期病棟を持つ病院として患者さんの期待に応えなくてはなりません。今回の工事を前に極力救急車の要請を受けようと院内で話し合いました。いろいろな問題が出てくることは承知の上です。特にこの医学が進んだ世の中で、専門が違う患者さんが来たらどうする？ということが最大の問題です。しかし夜中にすべての専門がそろって病院などありません。まして自分たちが普段診療している患者さんについてはこの病院が最も承知しているのです。とにかく診察しよう、特にかかりつけの患者さんについては絶対に断らないということであらためて確認しました。

病院の実力を上げるにはすべての職員の努力が必要です。あらゆる職種の職員が自分たちの仕事を全うし、さらに職種間でしっかり連携を保ち決して縦割りだけの仕事とならないよう努力してまいります。患者さんの更なるご支援とご指導をお願い致します。

この暑さも当分続きそうですが、くれぐれもご自愛ください。それでは最後に皆さまへ改めまして、残暑お見舞い申し上げます。

医療法人 済恵会
理事長
須藤 英仁



看護計画からはじめよう

皆さんこんにちは、今年は猛暑日（酷暑と言ってもいいのでは）が続いており、記録を更新中です。屋外での作業に限らず、屋内においても水分と塩分補給をしっかり行い、熱中症を予防してください。また少しでも体調不良を感じた場合は、早期に受診をしてください。

さて看護部は毎週水曜日に院長指導の下、早朝勉強会を行っております。疾患の勉強、検査、処置など内容は多岐にわたります。現在は過去の看護の振り返りから、看護記録、看護計画について勉強をしています。

皆さんは看護記録や看護計画って何？と思われることでしょうか。簡単に説明しますと、看護記録は医師の診療記録と同様に、患者さん個々に看護師が行った看護を記録することです。看護師が行ったことを記録するのは簡単なことだと思いませんか？わざわざ勉強する必要があるのでしょうか？しかし看護記録に沢山の時間を要している現実があり、問題であると感じています。

本来看護記録は看護計画に沿って記録しなければなりません。そして、患者さんになぜこの看護が必要か、看護を行った結果から次に何をするか等、頭の中で考えた課程も記録する必要があります。しかし看護師は考えることと同時に行動をする、もっと極端なときは考える前に行動していることがあります。そうすると、記録を行う時に思考過程をどう書くか悩んでしまい、時間がかかるのではないかと思います。ではどうしたらいいのでしょうか。私は看護計画に

戻ることが必要だと思います。

看護計画は患者さんの苦痛が改善され、入院前の生活に戻ることができることを目標として、看護師が目的をもって患者さんの状態を観察し、必要な援助や生活指導を行うためにあります。そして看護師全員が1人の患者さんに、同じ看護を提供できるように計画するものです。まず看護計画を確認して、今日患者さんに何を目的に、どんな看護・援助を行うのか理解する必要があります。そして考えながら必要なことを観察し、援助を行い結果まで記録する。この一連の過程を身に付けることで、看護記録が簡潔に記入でき、だれが見ても患者さんの状態がわかるようになると思います。

最後に、今後は看護計画を確認してから患者さんのところに向かうことを、習慣化します。現在患者さんの傍で、夜勤看護師と日勤看護師が情報交換を行っています。その場を活用し、看護計画を確認していきます。さらに、看護計画についても、記録委員を中心に見直し、だれが見ても目標が理解できる表現に変えて行きたいと思っています。目的がなく、食事や入浴介助をするのでは介護になってしまいます。看護が看護であるように、日々考えることを続けたいと思います。

**看護部長
佐藤 明美**



一歩前へ

まず、はじめに皆さんにお聞きしたいことがあります。

「私たちは、笑顔で親切な対応を約束します。」これは、注射コーナーに掲示されている、「私たちの約束」という文章の最初の一文です。常日頃から、私たち外来スタッフは、「外来は病院の顔」という意識を持って患者さんの対応に当たるように心掛けていますが、患者さん、その家族、病院を訪れてくださる皆様からご覧になって、私たちは、笑顔で対応できているでしょうか？ 親切な対応はできていますか？ ご存じの方も多いと思いますが、須藤病院の外来はとても混雑しています。そんな中、私たちもスムーズな受診、検査を心がけ、必死に対応させて頂いております。しかし、特に午前中の外来では、皆さんをお待たせしてしまう状況が発生してしまっています。その忙しさや混雑の中で、「笑顔で親切な対応」ができていないかといえば、お恥ずかしながら、すべての場面で胸を張って「できています。」とは言い難いというのが現実です。そこで、今私たちが混雑を緩和して、少しでも余裕を持って「笑顔で親切な対応」ができるようにするために、取り組んでいることを紹介させて頂きたいと思います。

1つめに、インカムの活用です。インカムと言われても、何のことだか分からない方も多いと思いますが、簡単に言ってしまうと無線機です。外来受診されている方の中には、看護師や、事務員が耳にイヤホンを着けて仕事をしている姿を見たことがある方も多いと思いますし、急に独り言を言うスタッフに驚いたことがある方もいらっしゃるのではないかと思います。インカムという無線機は、一対一の会話ではなくて、一人の発信を他の全員に伝えることができます。たとえば、受付のスタッフが「注射の須藤さんが来ました」と発信すれば、そのほかにインカムを着けているスタッフ全員が「注射の須藤さんが来たのね」と認識することができるのです。このインカムを看護師や、事務員だけでなく、放射線科、検査科のスタッフも装

着するようになりました。来院されている皆さんには、聞かれることのない会話ですが、外来診察のスムーズな流れを作るために活用されています。また、来院中、お困りの際にもスムーズな対応ができると思いますので、インカムを装着しているスタッフにお声かけ頂ければと思います。

2つめに、現在行っている保険証の確認方法を変えていこうと考えています。現在は受付時に一括して確認作業を行っていますが、事前に採血や、検査の指示が出ている場合には、確認を会計時にさせて頂き、採血や、注射、検査を行うまでの時間を短縮できるようにして行こうと考えています。勿論、急に全てというわけには行きませんので、段階を踏んでということになります。しかし、今まで患者さんも慣れている方法を変更して行くわけですから、もしかしらご迷惑をお掛けしてしまう事もあるかも知れません。ですが、スムーズな外来運営のため、是非ともご理解とご協力を賜りたいと思います。

「私たちは常に進歩します。そして一歩前への行動を起こします。」これも冒頭に挙げた「私たちの約束」の中の一文です。須藤病院の外来スタッフとして私たちは常に進歩して行く事を目指しています。そしてそれは、須藤病院を訪れる患者さんが、スムーズに診察を終え、満足して帰宅することができる。と言うことに繋がる進歩でありたいと考えています。これからも一歩前へ、私たち外来スタッフ一人一人が胸を張って「笑顔で親切な対応をしています。」とすることができるよう努力し続けたいと考えています。

最後になりますが、来院の際、何かお気づきのことがあれば、どうぞお気軽にお声掛け下さい。患者さんの何気ない一言が私たちを成長させて下さるかも知れません。そして、これからも、皆様の傍にある須藤病院であり続けて行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

外来看護主任 山田貴久

医事課 ～新システム起動後半年が経過して～

厳しい暑さが続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

当院では3月1日より電子カルテ、再来受付機、自動精算機とすべてのシステムの入替えを行いました。平成20年に電子カルテシステムを導入し、約7年間使用してきました。

以前から電子カルテを使用しているとはいえ、新しいシステムに慣れるまでに時間を要してしまい、患者さまにはご迷惑をお掛けしております。運用面ではまだ改善すべき点がありますが、各部署と連携を取りながら、よりスムーズに診療から会計まで進めるように調整を行っていきます。

新システムについて、患者さまよりご意見も頂いております。最近頂いた中で、「精算機の画面に表示されている金額が後ろに並んでいる人に見えてしまうのが気になる」というものがありました。今後、次に支払う順番の方は少し精算機から離れたところに並んで頂くように対応していきたいと思

います。患者さまのご協力をお願いいたします。

また、頂いたご意見の中には、事務員や看護師など、職員の対応等についてご指摘もありました。

当院では「私たちの約束」という5つの約束を掲げています。

その中に「私たちは笑顔で親切な対応を約束します」という約束があります。

患者さまが来院し、最初に出会う職員が受付にいる事務員です。この約束を忘れることなく、きめ細やかな対応ができるよう事務員一同努力してまいりますのでよろしくをお願いいたします。

医事課 小川



並んでお待ち下さい

会計の患者様は
一列に

お願い

自動精算機前に一列に並んでお待ちいただくように案内表示を出しました。